

# 学校でひらく舞台芸術教室

## 角山小学校、竹枝小学校での魅力的な授業

平成23年に福武教育文化振興財団創立25周年記念事業の「学校でひらく舞台芸術教室」(以下「舞台芸術教室」)のお話を、NPO法人アートファームから角山小学校にいただいたことが始まりでした。本校は小規模複式学級で、小さな学校の子どもの仲の良い集団が、中学生・高校生と西川アイプラザで元気な創作演劇を発表できました。

平成24年は取り組みを同規模の竹枝小学校に広げ、一方は創作ダンス「竹枝の四季」もう一方は創作劇「国語であそぼ」を発表し合い、体育の授業でも交流しました。

東日本の児童を迎えた幅の広い竹枝小、地元っ子ばかりの角山小という違いがありますが、両校の児童は、地域に育てられるという環境は似ています。「舞台芸術教室」で北村講師や角講師の授業を受けるうちに、持ち前の学年の隔てのない家族のような集団の団結力が花咲く発表になりました。子どもたちどうし、心を開いて楽しい時間を共有することができました。この事業を享受できたことに感謝し、夢は他の小規模複式2校に広げていくことです。

平成23年は、新学習指導要領に沿った新しい教科書の導入年であり、言語活動の充実がクローズアップされました。「舞台芸術教室」のお話を角山小学校にもたらされたのが、まさにこの年でした。

アーティストによる演劇指導は、教師とは異なる観点で児童の心をつかむ魅力的な授業であり、小学生から高校生による発表の中で、元気のよい創作演劇発表につながり、小さな学校の仲の良い集団の力を教える試みでした。

平成24年は、竹枝小のダンスと角山小の演劇で表現力の成果発表の交流に広がってくださいました。本質より視覚的インパクトが重要にされがちな昨今、子どものコミュニケーション能力の向上こそ、未来を「生きる力」に必須なものです。「舞台芸術教室」は見える成果を用意するには評価研究が必要ですが、子どものいきいきとした瞳が「舞台芸術教室」の必要性を現し、小規模複式で学ぶ児童のコミュニケーション育成につながったと確信しております。(岡山市立角山小学校 校長 藤田京子)

### 竹枝小学校「竹枝の四季」



角山小学校「国語であそぼ」